

## 福島県 飯舘村

### (基本方針)

インフラ(道路、水道、集落排水等)については、村の復興に必要な社会基盤であり早急に復旧をしなければならない。村では、避難をするまでの間に道路、水道、集落排水等は応急的に復旧をし、一時帰宅等で必要な最低限の生活基盤は整っている状況にある。

しかし、今後帰村に向けては不十分であり、仮復旧から本復旧、村道の通行止めの解除、各施設の調査・復旧を計画的に進める。また、施設再開に向けては施設をどう維持するかという視点も含め対応し、施設再開に向けた復旧・維持管理に努める。

また、復旧工事を進めるにあたり、原発事故に伴う放射能に汚染された表土やガラ等の処分についての課題解決も必須である。

## 1. 河川

- ① 被災の状況と復旧の方針、予定  
地震による詳細な被害の把握ができていない状況であるため、今後、調査を行う必要がある。調査にあたっては、周辺の線量が高いため線量の減衰を見極めながら現地調査を行う予定だが、現在は工程の見込みが立っていない状況である。
- ② 平成27年度の目標  
周辺の除染作業の工程に合わせ、線量の減衰を見極めながら現地調査を行い、被害があれば復旧していく。
- ③ 平成27年度に実施したこと(成果)  
パトロールを実施した。
- ④ 平成28年度の目標  
周辺の除染作業の工程に合わせ、線量の減衰を見極めながら現地調査を行い、被害があれば復旧していく。

## 2. 上水道

- ① 被災の状況と復旧の方針、予定  
平成25年度までに漏水調査を実施し、本管は支障なく稼働し、水質検査等に異常もないことが確認されたが、宅内の給水管における冬季の凍結漏水が散見されることから、計画的に調査を行う予定である。
- ② 平成27年度の目標  
宅内における冬季の凍結漏水が散見されることから、漏水対策を講じるよう周知する。
- ③ 平成27年度に実施したこと(成果)  
冬季の凍結漏水対策について、漏水対策を講じるよう周知した。
- ④ 平成28年度の目標  
宅内における冬季の凍結漏水が散見されることから、漏水対策を講じるよう周知する。

## 3. 下水道

- ① 被災の状況と復旧の方針、予定  
2箇所の配水処理施設は正常に稼働しており、必要最低限の機能は確保している。また、マンホールの段差や管路上部の路面の陥没等については、避難前に応急復旧済みである。一方で、全村避難により排水の使用頻度が少なく極端に汚泥量が少ない状況にあるため微生物の死滅が懸念されるため、詳細な調査が必要である。なお、応急復旧は済んでいるが、将来の帰村に向け、本格的な管路調査等を行う必要があり、計画的に復旧を進める予定である。
- ② 平成27年度の目標  
村民の一時帰宅及び将来の帰村に向け、本格的な管路調査、設計を行い、計画的に復旧を進める。
- ③ 平成27年度に実施したこと(成果)  
パトロール及び計画的な復旧に向けた検討を実施した。
- ④ 平成28年度の目標  
村民の一時帰宅及び将来の帰村に向け、本格的な管路調査、設計を行い、計画的に復旧を進める。

## 4. 道路

- ① 被災の状況と復旧の方針、予定  
避難前に仮復旧を行っており最低限の機能は確保している。今後、村民の一時帰宅及び将来の帰村に向け、仮復旧箇所や通行止め箇所について本復旧を計画的に進める予定である。
- ② 平成27年度の目標  
村民の一時帰宅及び将来の帰村に向け、仮復旧箇所や通行止め箇所について本復旧を計画的に進める。
- ③ 平成27年度に実施したこと(成果)  
パトロールを実施した。
- ④ 平成28年度の目標  
村民の一時帰宅及び将来の帰村に向け、仮復旧箇所や通行止め箇所について本復旧を計画的に進める。

## 5. 農地・農業用施設

- ① 被災の状況と復旧の方針、予定  
ため池については、地震による被害調査を行い、一部仮復旧しているが、農地・農業用施設全体について、将来の営農再開に向け、放射性物質拡散防止対策を実施するとともに、土砂流失防止対策及び排水対策を実施する予定である。
- ② 平成27年度の目標  
将来の営農再開に向け、放射性物質拡散防止対策を実施するとともに、土砂流失防止対策及び排水対策を実施する。
- ③ 平成27年度に実施したこと(成果)  
土砂流失防止対策及び排水対策を実施した。
- ④ 平成28年度の目標  
将来の営農再開に向け、今後の実施予定箇所について、放射性物質拡散防止対策の実施時期を検討するとともに、引き続き、土砂流失防止対策及び排水対策の実施を図る。

## 6. 文教施設・その他村営施設

- ① 被災の状況と復旧の方針、予定  
震災後、目視による調査により被害状況を把握するとともに、可能な範囲内で一部修繕を行ってきたが、全てが復旧した状況ではなく、地震による影響で雨漏りや外壁が破損している施設もある。今後、村民の将来の帰村に向け、復旧していないその他の施設について、調査・設計を行い、計画的に復旧を進める。
- ② 平成27年度の目標  
飯舘村生活改善センターの改築、宿泊体験館きこりの修繕及び消防庁舎の設計・改築を行う。また、その他の施設については、調査・設計を行う。
- ③ 平成27年度に実施したこと(成果)  
飯舘村生活改善センター及び消防庁舎の解体・新設工事、宿泊体験館きこりの一部修繕を行った。また、その他の施設について、将来の帰村に向け、見回り・点検を行った。

- ④ 平成28年度の目標  
飯館中学校を幼稚園・小学校・中学校の合同利用施設として大規模改修を行うとともに、運営規模に適した講堂の増設を進める。また、避難中に傷んだ校舎及び付帯施設、中学校に隣接するスポーツ公園(荒廃した陸上競技場及びテニスコート)についても復旧修繕を進める。このほか、宿泊体験館きこりの一部修繕を行う。

## 7. 住宅

- ① 被災の状況と復旧の方針、予定  
震災後、目視による調査により被害状況は把握しており、一部復旧した箇所や施設はあるものの、全てが復旧した状況にはない。今後、村民の将来の帰村に向け、住宅政策は重要な位置付けとなることから、被災した住宅を含めて住宅政策を再構築する。中でも、老朽化した公営住宅は避難により管理できない状況にあるため用途廃止し、草野地区大谷地住宅等を建て替え、村内復興住宅として整備する。また、高線量地域の村民等を対象として、村内の低線量地域に「復興のための村内拠点」として、災害公営住宅を整備する。
- ② 平成27年度の目標  
大谷地住宅の整備(8戸)、実施設計(3戸)及び解体を行う。
- ③ 平成27年度に実施したこと(成果)  
大谷地住宅の整備(8戸)、実施設計(8戸)を行った。
- ④ 平成28年度の目標  
大谷地住宅の整備(8戸)及び解体(54戸)を行う。

## 8. 除染

- ① 被災の状況と復旧の予定、方針  
平成24年5月に策定された「特別地域内除染実施計画(飯館村)」(平成24年11月、平成25年12月一部改定)に基づき、除染事業を実施。  
平成28年以内に、除染を終了させる予定。
- ② 平成27年度の目標  
宅地については早期に終了させる。その他については平成28年以内に終了させることを目標に、加速化を図る。
- ③ 平成27年度に実施したこと(成果)  
仮置場は必要数量を確保し、除染への同意取得はほぼ終了。  
除染等工事は、ピーク時には5,400人/日の作業員数を確保し、平成27年6月末までに宅地100%、年度末(平成28年3月末)時点の進捗率は、農地55%、森林86%、道路48%。  
除染で発生した除去土壌等の仮置場87箇所の維持管理を行いつつ、中間貯蔵施設へのパイロット輸送により、1,000m<sup>3</sup>(袋)の除去土壌等を搬出。  
仮設焼却施設へ、約0.9万袋の可燃物を搬出。
- ④ 平成28年度の目標  
農地、森林、道路の除染を年内に終了させる。  
事後モニタリング等、必要な除染のフォローアップを実施する。  
中間貯蔵施設への輸送により、5,000m<sup>3</sup>(袋)の除去土壌等を搬出。  
仮設焼却施設の稼働状況に応じて、可能な限り可燃物を仮置場から搬出。

〈参考〉飯舘村における除染実施計画

[http://www.env.go.jp/jishin/rmp/attach/josen-area\\_p-iidate.pdf](http://www.env.go.jp/jishin/rmp/attach/josen-area_p-iidate.pdf)

## **9. 災害廃棄物等処理**

- ① 被災の状況と復旧の方針、予定
  - ・ 帰還の妨げとなる廃棄物について、仮置場への搬入を完了。
  - ・ 引き続き、対策地域内廃棄物の処理を実施。
- ② 平成 27 年度の目標
  - ・ 引き続き、対策地域内廃棄物の処理を実施。
- ③ 平成 27 年度に実施したこと
  - ・ 被災家屋等の解体撤去を実施（約 70 件解体撤去）。
  - ・ 片付けごみの回収を実施。
  - ・ 小宮地区の仮設焼却施設で、焼却処理を実施。
  - ・ 蕨平地区の仮設焼却施設で、焼却処理を実施。
- ④ 平成 28 年度の目標
  - ・ 引き続き、対策地域内廃棄物の処理を実施。

インフラ復旧の工程表(福島県飯舘村)

平成28年3月末現在

→ :工程が見込めるもの ●...▶ :工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H27年度の目標 (H27.7公表)	H27年度に実施 したこと(成果)	H28年度に実施 すること(目標)	28年度				29年度				30年度				31年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
<b>河川</b>																			
村内の河川	村・県	地震による詳細な被害の把握ができていない。	被害拡大防止対策実施	現地調査を行い、被害拡大防止対策を実施した。	被害拡大防止対策実施	●...▶ 被害拡大防止対策実施									現地調査を行い、被害があれば復旧計画を策定していく。				
<b>上水道</b>																			
本管・給水管	村	漏水調査を実施し、復旧。管路布設延長=90km	復旧済	復旧済	復旧済														
<b>下水道</b>																			
農業集落排水 (草野地区)	村	管路及びマンホール布設部の路面沈下 管路布設延長=10km	被害拡大防止対策実施	パトロール、復旧に向けた検討	調査・設計	●...▶ 調査・設計				●...▶ 復旧工事									
農業集落排水 (飯樋地区)	村	管路及びマンホール布設部の路面沈下 管路布設延長=5km	被害拡大防止対策実施	パトロール、復旧に向けた検討	調査・設計	●...▶ 調査・設計				●...▶ 復旧工事									
<b>道路</b>																			
村道 大火比曾線	村	法面崩落、仮復旧 1カ所 L=29m	被害拡大防止対策実施	復旧済	復旧済														
村道 岩部線	村	法面崩落、仮復旧 2カ所 L=47m (1工区L=27m、2工区L=20m)	被害拡大防止対策実施	復旧済	復旧済														
村道 小滝大倉線	村	落石通行止め	災害防除工事	パトロール	災害防除工事	●...▶ 災害防除工事													
村道 小宮風兼線	村	落石通行止め 2カ所 L=350m (1工区L=200m、2工区L=150m)	災害防除工事	パトロール	災害防除工事	●...▶ 災害防除工事													
村道 佐須久保田線	村	農地法面崩落通行止め L=40m	復旧工事	パトロール	復旧工事	●...▶ 復旧工事													
村道 八和木荒屋敷線	村	農地法面崩落の危険性 通行止め L=50m	被害拡大防止対策実施	復旧済	復旧済														
<b>農地・農業用施設</b>																			
田・水路	村	【仮復旧済】 田 崩落2カ所 水路 柵ぎよ倒れ1カ所	被害拡大防止対策実施	被害拡大防止対策実施	被害拡大防止対策実施	●...▶ 被害拡大防止対策実施													
ため池	村	堤体崩落(中迫ため池、大火ため池)、堤体亀裂(堂の 入ため池、大宮ため池)、堤 体漏水(八木沢ため池)	被害拡大防止対策・ 汚染拡散防止対策実施	被害拡大防止対策	被害拡大防止対策・ 汚染拡散防止対策実施	●...▶ 被害拡大防止対策実施				●...▶ 汚染拡散防止対策実施									
農道 野手神線	県	【復旧済】 橋梁部の段差及び橋梁下 部のブロック倒れ	-	-	-														

●→ :工程が見込めるもの ●...▶ :工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H27年度の目標 (H27.7公表)	H27年度に実施 したこと(成果)	H28年度に実施 すること(目標)	28年度				29年度				30年度				31年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
文教施設・その他村営施設																			
相馬農業高等学校飯館校	県	ボイラー配管損傷 体育館の窓枠歪み 和室棟屋根瓦損傷 等	調査・設計	未着手	未定														
飯樋小学校 校舎	村	雨漏り	調査・設計	復旧済	復旧済														
飯樋小学校 プール	村	プール際亀裂 地盤崩落、プール傾斜	調査・設計	被害拡大防止対策実施	解体も含め検討	検討	●...▶												
飯樋小学校 進入路	村	進入路L型擁壁亀裂・傾斜	調査・設計	調査・設計	復旧工事					●	→								
飯樋小学校 体育館	村	体育館屋根下地板落下 雨漏りあり	調査・設計	被害拡大防止対策実施	復旧工事					●	→								
草野小学校 校舎	村	給水設備漏水	調査・設計	見回り・点検	給水設備調査・設計・復旧工事					●	→								
草野小学校 体育館	村	外壁破損	調査・設計	復旧済	復旧済														
白石小学校 校舎	村	雨漏り	調査・設計	見回り・点検	調査・設計					●	→			●	→				
白石小学校 体育館	村	雨漏り	調査・設計	見回り・点検	調査・設計					●	→			●	→				
飯館中学校	村	時計塔破損(仮復旧) 校舎内雨漏り 浄化槽の破損	雨漏り・浄化槽の調査・設計	見回り・点検	幼稚園・小学校・中学校の合同 利用施設として大規模改修					●	→								
飯館中学校 体育館	村	【復旧済】 体育館天井落下 復旧後雨漏り	復旧済	復旧済	大規模改修と合わせて復旧工事					●	→								
飯樋幼稚園 園舎	村	屋根の破損	調査・設計	見回り・点検	調査・設計					●	→			●	→				
草野幼稚園 園舎	村	屋根の破損	調査・設計	見回り・点検	調査・設計					●	→			●	→				
教員住宅12棟	村	サッシ枠、床等の歪み 給水設備水漏れ	調査・設計	見回り・点検	調査・設計・復旧工事(4戸)					●	→			●	→				
学校給食センター	村	浄化槽の破損	調査・設計	見回り・点検	復旧工事					●	→								
生活改善センター	村	地盤沈下、床面傾斜、構造 各部にひび割れ	改築	解体・新設工事	新設工事					●	→								



●→ :工程が見込めるもの ●...▶ :工程が現時点で見込みにくいもの

事業	整備主体	被災/稼働状況	H27年度の目標 (H27.7公表)	H27年度に実施 したこと(成果)	H28年度に実施 すること(目標)	28年度				29年度				30年度				31年度以降	備考・ポイント等
						4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
災害廃棄物処理																			
対策地域内廃棄物処理	国	(仮設焼却施設) 稼働中(小宮地区) 稼働中(蕨平地区)	・引き続き、対策地域内廃棄物の処理を実施。	・被災家屋等の解体撤去を実施(約70件解体撤去)。 ・片付けごみの回収を実施。 ・小宮地区の仮設焼却施設で、焼却処理を実施。 ・蕨平地区の仮設焼却施設で、焼却処理を実施。	・引き続き、対策地域内廃棄物の処理を実施。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
						小宮仮設焼却施設運営				小宮仮設焼却施設解体撤去									
						●				蕨平仮設焼却施設運営				●					

# 各市町村における公共インフラ復旧の概況

## 福島県 飯舘村

### (復旧の概況)

- 生活に必須となる道路・上下水道等のインフラは、避難をするまでの間に応急的に復旧をし、一時帰宅等で必要な最低限の生活基盤は整っている状況にある。今後、本格運用に向けた復旧工事や調査・設計を行う。
- 医療福祉施設や、役場、公民館や集会所などの住民の生活環境やコミュニティ復活に係る公共インフラについては、可能な範囲内で復旧工事等を行っている。平成28年度も引き続き、可能な範囲内で復旧工事や調査・設計に着手する予定である。